

2020年度「台湾日本語教育研究」国際シンポジウム

ークリエイティブ・ラーニングを目指す日本語教育ー

プログラム



場 所 淡江大学淡水キャンパス・驚声ビル3階（新北市淡水區英專路151號）
 時 間 2020年11月28日（土曜日）
 申込み先 <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=J20201128>
 申込締切 2020年11月13日（金曜日）17:00までに

↑ 報名網址連結

0900-0930	受付(驚声ビル3階・驚声国際会議場前)					
0930-0950	開会式		会 場 驚声国際会議場 司 会 樋口 達郎（淡江大学助理教授） 開会挨拶 曾 秋桂（台湾日本語教育学会理事長） 吳 萬寶（淡江大学外国語学部学部長） 村嶋 郁代（公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長）			
0950-1000	休憩時間					
1000-1100	基調講演①		会 場 驚声国際会議場 司 会 賴 錦雀（東呉大学特聘教授） 題 目 学習環境のイノベーション 講演者 山内 祐平（東京大学教授）			
1100-1200	基調講演②		会 場 驚声国際会議場 司 会 賴 振南（輔仁大学教授） 題 目 クリエイティブ・ラーニング：創造社会の学びと教育 講演者 井庭 崇（慶應義塾大学教授）			
1200-1300	1. 会員大会（会場：驚声国際会議場） 2. 昼食（会場：T310、T311教室）					
1300-1305	セッション① 招待講演		セッション②		セッション③	
1305-1325	会 場 驚声国際会議場 司 会 邱 若山（静宜大学教授） 題 目 クリエイティブ・ラーニングを引き出す授業設計 講演者 辛 銀眞 （韓国明知大学校講師・韓国日本語教育学会常任理事）		会場 T310教室 コメンテーター 黄 翠娥 （輔仁大学教授）		会場 T311教室 コメンテーター 楊 錦昌 （輔仁大学教授）	
1325-1345			落合 由治 （淡江大学特聘教授）		菊島 和紀 （淡江大学助理教授）	
1345-1355			文章ジャンルにおけるテキスト・マイニングの応用と 日本語教育への活用		「補語可能構文」の構造と中日翻訳の問題点 ー淡江大学「日文翻譯」授業での翻訳例からー	
1355-1400			中澤 一亮 （元智大学准教授）		城戸 秀則 （東呉大学博士課程）	
1400-1405	セッション④		セッション⑤		セッション⑥	
1405-1425	会場 驚声国際会議場 コメンテーター 范 淑文 （台湾大学教授）		会場 T310教室 コメンテーター 董 莊敬 （文藻外語大学准教授）		会場 T311教室 コメンテーター 林 慧君 （台湾大学教授兼日本語学系主任）	
1425-1445	賴 錦雀 （東呉大学特聘教授）		賴 鈺菁 （淡江大学助理教授）		簡 曉花 （中華大学教授）	
1445-1505	日本語教育学と地元学の連携 ー「対談 李登輝/司馬遼太郎 場所の悲哀」を例にー		「日本文化思想史概論」という授業における内容重視の批判的言語教育の試みー淡江大学日本語学科学科進修班を中心にー		Zuvio IRS でPBLを支えた「日本社会と流行文化」の授業	
1505-1520	曾 秋桂 （淡江大学教授）		李 霽芳 （東呉大学非常勤助理教授）		中村 香苗・関 百華 （淡江大学准教授・淡江大学准教授）	
1520-1525	AIのテキストマイニング技術による村上春樹文学受容 ー「村上春樹文学講座」の履修生を対象にー		日本語学習者の自律学習を促すリスニング授業の試み		実践を充実させた日本語教師養成カリキュラム ー大学部と大学院との連携ー	
1525-1530	パネルディスカッション テーマ クリエイティブ・ラーニングを目指す日本語教育 会 場 驚声国際会議場		司 会 曾 秋桂（台湾日本語教育学会理事長）			
1530-1630			パネリスト① 檢校 裕朗（韓国日本語教育学会会長） パネリスト② 八尋 春海（比較文化学会会長） パネリスト③ 賴 錦雀（台湾日本語教育学会前理事長） パネリスト④ 賴 振南（台湾日本語学学会前理事長） パネリスト⑤ 王 世和（台湾日本語学学会理事長） パネリスト⑥ 邱 學瑾（台中科技大学語文文学部学部長）			
1630-1700			総合討論			
1700-1730			閉会式		会 場 驚声国際会議場 司 会 樋口 達郎（淡江大学助理教授） 閉会挨拶 曾 秋桂（台湾日本語教育学会理事長）	
1800-2000	懇親会		会場 將捷金鬱金香酒店 住所 新北市淡水區中正路一段2號			

主 催 淡江大学日本語学科・台湾日本語教育学会・淡江大学村上春樹研究センター
 助 成 科技部・国際交流基金
 後 援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所（予定）

